



6月号

令和5年6月1日

神根小だより

川口市立神根小学校
在籍児童292名16学級



命の大切さ

校長 篠崎 弘敬

5月には地域の皆様をお迎えして「学校運営協議会」や「学校応援団初めの会」「運動会」等がありました。日頃から地域の皆様には、学校教育のためにご尽力していただいております。皆様の協力を得ながら行事等無事終えることができました。

地域の皆様の協力や心遣いを実感しました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

さて、昨今人や動物を傷つけた事件の報道を多く耳にしています。命はかけがえのないもので、何事にも代えることができない尊いものです。人が人や動物を傷つけるということはあってはいけません。今、学校と家庭や地域が協力して子供たちがまっすぐに育つ環境づくりを真剣に進めることが大切だと思います。

私は着任以来、「人に優しくすること」「人を傷つけない言葉使いをしよう」、朝会で児童の前で話をしてきました。それは、「人に優しく、人のことを考えられる人間になって欲しい」という願いからです。そのような人間性を持つことで将来幸せな人生を歩めるのではないかと考えているからです。

先日、登校途中、下級生が転んでしまいけがをしてしまいました。まわりにいた上級生が優しく声をかけたり荷物をもったりして優しく登校をサポートしてくれました。担任の先生も駆けつけてくれました。誰かが伝えてくれたのでしょう。幸いその子のケガも大きなものではありませんでした。朝から子供たちの優しい気遣いに心が温かくなりとても嬉しい気持ちになりました。上級生の行動を見た下級生たちは、自分たちが上級生になったら自然とこのような行動がとれるのではないかと思います。良い行動は伝わっていきます。「人に優しくすること」「人を傷つけない言葉使いをすること」を今後も忘れず健やかに成長して行って欲しいと思います。

学校では、6月「命の大切さ」について指導をしていきます。道徳の時間や学級活動等を通して「命の大切さ」について指導をしていきます。また、読み聞かせボランティアの方々にもお願いして「命」に関わる本の読み聞かせを行っていただこうと考えています。可能であれば、ご家庭でも「命の大切さ」について話をしてみてください。保護者の方々は、お子さんに対して愛情を注ぎ育てられていると思います。お子さんが生まれた時どれだけ嬉しかったか、病気をしてしまった時どれだけ心配したか等話題はなんでもいいので話してみてください。中々照れくさくて話しにくいこともあると思いますが、話しにくいことこそ子供の心に届くものです。機会がありましたら愛情をもって育てていることについて話をしてみてください。その愛情が自分自身を大切にし、そして関わる人々を大切に「命を大切にする心」を育てます。是非この機会にお話ししていただければと思います。今月もご家庭と協力しながら教育活動を進めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。

明治6年開校 やる気と根気で夢をかなえる神根っ子

かしこい子
みんな仲良く
助け合う子
ねばりつよい子

150
ANNIVERSARY

川口市立神根小学校

